

2016年3月1日

明治大学理工学部物理学科

学科長 立川 真樹

鹿児島誠一先生最終講義のご案内

早春の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、理工学部特任教授として明治大学の教育に貢献されてきた鹿児島誠一先生が、3月をもって退職されることになりました。

鹿児島先生は低次元物質の物性研究において著名な業績を残され、2009年東京大学を定年退官の後、明治大学に客員教授として着任されました。2012年4月からは理工学部特任教授となられ、7年間にわたり明治大学の研究と教育に尽力されました。

物理学科では、物理数学や電磁気学など重要な専門科目を数多く担当され、丁寧で親切的な講義は学生たちに評判でした。他学科への物理の基礎教育にも熱意を持って臨まれ、多大な貢献をされてきました。

鹿児島先生の最終講義を下記のように設定いたしました。長年の研究・教育の集大成となるご講演になるものと思います。皆様、こぞってご参加くださるようお願い申し上げます。

記

日時： 2016年3月17日(木曜日) 15時から16時まで

場所： 明治大学生田校舎 A館206教室

講演者： 鹿児島 誠一 特任教授

題目： 「研究の42年と教育の36年」

